

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.386 2011.2.1 <http://www.oakv.co.jp>

冬が教えて くれること

石井 恭子 文
中嶋亜紀子 写真

いつになく冷え冷えと澄み切った、月冴える夜…物静かな時間。
その静けさをもたらしたのは、降り積もる雪でした。
外を歩けばうつすらと明るく、

寒さの中で光を放つ月は、水晶のように透き通り、
光りを受けた雪とともに、闇夜の大きな灯りとなります。

それとは対象的な、心安らぐひと筋の小さな灯り。

冷たい空気もそつと優しく包み込む、神秘的で荘厳な灯りは、
すべてを照らすほどの力はないものの、

自分の一番美しい姿を知っているかのように、揺らめくのです。

月と雪が織り成す灯り、和ろうそくの美しさ。

すべて、冬の飛驒が教えてくれます。

凍みる冬。

それは、思いがけない自然の姿や、

雪の暮らしから生まれた伝統や文化を、

改めて学ばせてくれる季節でもあるようです。

そして、やがて訪れる春の喜びも…。

